

令和2年度 第1回 堺市SDGs未来都市推進本部会議 議事要旨

日時 令和2年8月12日(水) 10時40分～11時30分

場所 堺市役所 秘書課会議室

議題 次期SDGs未来都市計画について

<市長>

SDGs未来都市である本市は、SDGsという国際目標に、堺市としてどう貢献できるかを考える必要がある。環境、子どもの貧困、学力の向上などの様々な課題もSDGsに沿って対応していく。これまでの計画では、ゴールの言葉だけを捉えて、市施策を当てはめることが多かったように思う。しかし、169のターゲットを読み解くと、ゴール本来の趣旨に行きつく。

今回は、市施策をゴールに当てはめるのではなく、SDGsの本来の趣旨に沿って、世界に貢献するために堺で出来ることや目標設定(KPI)を考えていきたい。

<市長公室長>

現行のSDGs未来都市計画は、平成30年6月に堺市がSDGs未来都市に選定され、策定したもののだが、今年度、計画が期限を迎えるので、新たな計画の検討に着手をしている。資料を事務局から説明する。

政策企画部 資料説明

<市長公室長>

本日は、グローバルパートナーシップのもと、SDGsに対し、どう戦略的に取り組んでいくのか、169のターゲットを念頭に、2030年に向けて、どんな戦略的な取組ができるのかを含め、各局の考えを示していただきたい。

<環境局長>

SDGsの達成には、市民、事業者の主体的な取組が必要であり、そのためのプラットフォームを12月に立ち上げる準備を進めている。また、2050年までに、CO2の実質排出量をゼロにすることや海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにするといった国際的な取組の推進に向けて、環境戦略の検討を進めている。環境戦略をもとに、各取組を進めていくことでSDGsの達成に寄与したい。

<山岡副市長>

SDGs未来都市計画の目標は、それを如何に達成していくかという場面では、各局の連携が欠かせない。計画策定後、どのように連携を進める仕組みを作るかは、政策企画部でも検討してもらいたい。

<市長公室長>

庁内連携だけでなく、他の自治体や国、あるいは国際的な連携など、広い視野を持って、堺で何が出来るかということが議論のベースと考えている。

<ICT イノベーション推進監>

新たに大阪府・市、豊中市、富田林市が SDGs 未来都市になった。特に大阪府・市との関係では、スマートシティなどで連携しようとしている。SDGs について何か連携する事業はあるのか。

<市長公室長>

SDGs という枠組みの中では、具体的に進んでいないが、スマートシティをはじめ、SDGs に関連するもので個別に連携を進めている。

<政策調整監>

すでに、大阪府・市の SDGs 未来都市に提案した内容なども情報収集している。新たな計画を策定するにあたり、大阪府・市の方向性と齟齬がないように、調整していきたい。

<市長>

あくまでも SDGs 未来都市は各自治体の取組と考えている。SDGs の全体的な流れとしては、大阪府などとの齟齬がないように進める。

<教育次長>

教育はゴール 4 に位置付けられており、すべての SDGs の基礎であると言われている。ゴール 4 で、優先的に取り組むものとして、例えば、ターゲット 4.5 の「誰一人取り残さないための教育環境の整備」として、Society5.0 の到来を見据えた GIGA スクール構想の推進やターゲット 4.7 の「グローバル化の進展に伴う多文化理解の促進」がある。なお、教育委員会では、教育プランの策定に、現在取り組んでいるところであり、4、5、10、16、17 の 5 つのゴールを共通目標として、教育施策の整理と再構築を進めている。

<市長>

ゴール 4 の教育のターゲットを見ると、子どもに限らず、すべての人々が対象となっている。一つは学び直しで、大人になってからも勉強できる環境や職業訓練に関する記載がある。ターゲットの趣旨を踏まえ、何が出来るのかを検討してもらいたい。

また、ターゲットの中には、世界の国々や発展途上国を救うなど、国際的な課題があり、それに対して、堺で貢献できることはないか、また国に働きかけていけるのかなど、考えてもらいたい。

<文化観光局長>

文化観光局としては、世界遺産の保全や観光業の振興などもあるが、特に、グローバルな視点が重要であると思う。そうした中で、海外姉妹友好都市もあり、特に ASEAN の 10 の国と毎年交流していることが、堺市の特徴であると思う。今までは、市民や学校、子どもの交流など狭い範囲の交流だった。SDGs は教育、産業、環境など多方面に渡るので、国際部が窓口となって、ASEAN 諸国などとの幅広い交流ができるように、取り組んでいきたい。

<産業振興局長>

SDGs の達成には、市民と企業のどちらも取り組むことが重要であると思う。市内企業の 99%は中小企業であるため、中小企業の SDGs に対する意識によって施策が変わってくる。まずは、我々がどのレベルのものを中小企業に求めるのか、そのレベル感を掴みながら、今後の施策を考えていきたい。

<子ども青少年局長>

子ども青少年局は、未来を担う子どもたちと家庭を支える役割があり、2つのターゲットが、その役割を担ううえで、大きなウェイトを占めている。一つがターゲット 16.2「子どもに対する暴力の撤廃」である。児童虐待相談対応件数の増加が、喫緊の課題となっている。もう一つが、就学前教育へのアクセスである。就学前教育・保育は、人格形成の基礎を培う大切なもので、将来にも大きな影響を及ぼす。教育・保育の利用ニーズが伸びており、待機児童の解消に取り組んでいる。また、教育・保育施設や市のサービスに繋がっていない子どもに対する支援も考える必要がある。

<市民人権局長>

市民人権局は、ゴール 4 の教育、ゴール 5 のジェンダー平等、ゴール 10 の不平等の是正、ゴール 16 の平和で包摂的な社会の促進と関係が深い。ゴール 5 の女性・女兒を含むすべての人の安全・安心という点では、セーフシティさかいや防犯カメラの戦略的な設置などを進めていく。ジェンダー平等という点では、若手職員の育成や女性が活躍できる職場づくりを、積極的にサポートし取組を進めたい。また、人権意識を、市民の皆様に理解いただき、広げていくため、様々なツールを活用して、分かりやすく発信をしていきたい。KPI などの指標については、意識の変化などは測り方が難しく、工夫が必要であると思っている。

<建築都市局長>

建築都市局は、特に、持続可能都市に大きく関わりがある。新型コロナウイルス感染症が拡大し、まちと人との関わり方について、改めて考え直す必要があると思っている。その中で、ICT の活用を考え、市民や来訪者にどのようにサービスを提供していくのかを考える必要がある。例えば、MaaS は概念ではあるが、具体的な手法は、国でもまだ模索している段階にある。今後、東西交通などを検討するにあたっては、まちのあり方と一体的にと

らえて、人々にどのようなサービスを提供できるのか、SDGs の視点も踏まえ、考えていきたい。

<生活福祉部長>

健康福祉局のメインはゴール 3 である。ターゲット 3.3 については、新型コロナウイルスのほか、今後も新たな感染症の発生が懸念され、体制強化やコロナ禍で培ったノウハウの蓄積、継承等を行っていく必要がある。また、ターゲットの 3.8 については、全国初の高齢者を対象とした地域包括ケアシステム推進条例を施行して、可能な限り住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしく暮らし続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援を一体的に提供するシステムの構築に取り組んでいる。このシステムを高齢者にとどまらず、障害者、子ども、生活困窮者等も対象とし、地域の多様な主体が、我が事として地域に参画する地域共生社会の実現を図ることで、誰一人取り残さないという SDGs の理念を具現化していけるのではないかと思っている。現在、プロジェクトチームを立ち上げ、その実現に向けた組織改正を検討しているところである。

<市長公室長>

本日、共有した SDGs に対する認識をもとに、2030 年の国際目標に貢献する堺の将来像や、堺の特色や堺らしさを踏まえた社会・経済・環境の三側面の姿、その実現に向けた戦略的なゴール、取組を、次の会議に向けて検討していきたい。各局には、169 のターゲットに向けて、取組を提案いただき、計画の骨格をまとめていきたい。

<市長>

少し総括したい。資料 1 は、今の各計画の関係性を示したものであり、大きな理念として SDGs がある。また、取組を進める際の課題解決の視点として、Society5.0 を掲げている。資料 2 については、そもそも SDGs に対して、堺市がどういう役割を果たしていくのかを整理したので、各局で共有してもらいたい。

SDGs において大切なキーワードは二つある。一つは「多様性」、もう一つは「持続可能」である。高齢者の方や堺に住む外国人の方、インバウンドなど、皆がどう多様性を守りながら、暮らしていけるのが大切である。「持続可能」という点では、インフラや都市計画だけでなく、これからは概念として、バリアフリーや環境も大きく関わる。MaaS は ICT の取組であるが、今までの局間連携より進んだ協力を進める必要がある。SDGs 未来都市として、先進的な事例を作り上げていきたい。今、行っている事業でも、ターゲットに照らし合わせて、付加的な実施ができる事業も多くある。来年度は、さらに SDGs を推進できるようにしたい。

最後に、KPI、指標についてである。目的を達成するために、どのような KPI を定め、それが達成できたら目標に近づいていると言えるのかよく考えてもらいたい。この第 1 回の会議を機に、堺の取組が、堺を良くするだけでなく、世界的にも、全国的にも誇れる取組

となるように注力していきたいので、よろしく願います。

<市長公室長>

並行して今、次期基本計画も検討しており、各局も様々な計画を作られているが、このSDGs 未来都市計画や次期基本計画との整合を図りながら、齟齬がないように各局連携して進めていきたいと思うので、協力をお願いします。